

令和 2 年度第 1 回小牧市予防接種協議会 議事録

【日時】 令和 2 年 8 月 27 日（木） 14 時 00 分から 15 時 25 分

【場所】 保健センター 大会議室

【出席者】 委員 5 名

林芳樹委員、新原光喜委員、田中秀典委員、木村隆委員、
入江慎介委員

事務局 5 名

江口健康生きがい支え合い推進部次長、泉保健センター
所長、野口所長補佐、余語予防検診係長、吉村主査
欠席 1 名 谷口健次委員

【次第】

1 開会

2 あいさつ

3 委員紹介

4 会長選任

5 報告

(1)令和元年度予防接種事業実績について

(2)令和 2 年度予防接種事業計画について

6 議題

(1)令和 2 年度新規事業及び変更点について

(2)BCG 接種について

(3)標準接種スケジュールから外れた児のその後の接種スケジュール
について

7 その他

8 閉会

【議事】

司会

ただいまから小牧市予防接種協議会を開催させていただきます。

本日は、ご多忙の中ご出席を賜りましてまことにありがとうございます
ます。

委員の皆様におかれましては、公私とも大変お忙しい中、委員を
お引き受けいただきましてありがとうございます。

皆様の任期は、本年 7 月 1 日から令和 4 年 6 月 30 日までの 2 年
間となっております。委嘱状につきましては、本来ならお一人ずつ
交付させていただくところですが、机上に配布させていただき、
交付にかえさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

本日欠席の連絡をいただいておりますのは、小牧市民病院院長の
谷口委員 1 名でございます。

この会議につきましては、公開となっておりますので、事務局で
会議録を作成し、本庁にあります情報公開コーナー及びホームページ
におきまして公開させていただきますのでお願いいたします。現
在のところ傍聴者は 1 名であります。

会の開催に当たりまして、健康生きがい支え合い推進部次長江口
よりごあいさつ申し上げます。

江口次長

健康生きがい支え合い推進部次長の江口と申します。委員の皆様
におかれましては、ご多忙の中、当協議会にご出席賜りましてまこ
とにありがとうございます。

また平素は、予防接種の実施に当たりまして多大なるご協力をい
ただいていることに対しまして、この場をお借りして感謝申し上げ
るしだいです。

さて本市では、昨年 4 月からロタウイルスワクチンの一部助成を
開始し、本年 10 月 1 日からは定期接種になります。このため本年
につきましては、助成制度と定期接種の両制度が混在する形となり
ますので、事務上ご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、
判断等に迷われる場合は、遠慮なく保健センターに問い合わせをい
ただけたらと思いますので、よろしくお願いいたします。

また、公的に風しんの接種を受ける機会がなかった年代の男性に

対しまして、無料クーポン券を発行し、抗体検査及び予防接種を受けられる機会を設け、他の年代の方々と同等の抗体の保有率になることを目指しているところです。対象となる方が働く世代の男性であることから、本市といたしましても特定健診や事業所健診の機会を活用して、受検の機会を増やせるように努めてまいりたいと考えております。

今後も予防接種の向上に努め、市民の健康づくりの支援に取り組んでまいりますので、皆様方のより一層のお力添え、ご助言をお願い申し上げます。開会に当たりましての挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

事務局

本日が本年度第1回目の予防接種協議会となりますので、委員の紹介に移りたいと思います。委員の皆様、大変恐れ入りますが、それぞれ自己紹介をお願いしたいと思います。林委員からお願いします。

(委員自己紹介)

事務局

ありがとうございました。続きまして、事務局も自己紹介させていただきます。

(職員自己紹介)

続きまして、会長の選任に入らせていただきたいと思います。小牧市予防接種協議会設置要綱第4条第1項により、会長は委員の互選により定めるとされています。皆様、いかがいたしましょうか。

新原委員

本会の会長は、引き続き医師会の林委員が適任であると思いますので、推薦させていただきます。

事務局

只今、医師会の林委員を会長にとの声がありましたが、いかがでしょうか。

(異議なしの声)

皆様の賛同により会長は、医師会の林委員と決定いたしました。よろしく願いいたします。それでは会長の席へ移動をお願いいたします。

(会長席へ移動)

続きまして、要綱第4条第3項の定めにより会長の、職務を代理する委員を会長よりご指名くださいますよう、よろしく願いいたします。

林会長

それでは、新原委員にお願いしたいと思います。

事務局

只今、会長より新原委員との指名がありました。新原委員よろしく願いいたします。それでは、会長よりご挨拶をいただきたいと思っております。

林会長

引き続き会長をやらせていただきます、ワクチンに関する問題等ありますが、本年度もよろしく願いいたします。

事務局

ありがとうございました。

これより議事に入りますが、会長に議事進行をお願いしたいと思います。林会長よろしく願いいたします。

林会長

それでは、報告(1)(2)「令和元年度予防接種事業実績について」「令

和 2 年度予防接種事業計画について」事務局よりお願いします。

事務局

それでは、「令和元年度予防接種事業実績について」から説明させていただきます。資料の 1 ページをご覧ください。定期予防接種の実施状況です。

B 型肝炎については、1 回目対象者 1,113 名、接種者 1,087 名、接種率 97.7%、2 回目対象者 1,113 名、接種者 1,084 名、接種率 97.4%、3 回目対象者 1,113 名、接種者 1,045 名、接種率 93.9%でした。

ヒブワクチンの初回接種完了ですが、対象者 1,113 名、接種者 1,037 名、接種率 93.2%、追加接種完了は、対象者 1,086 名、接種者 1,066 名、接種率 98.2%でした。

小児用肺炎球菌の初回接種完了は、対象者 1,113 名、接種者 1,074 名、接種率 96.5%、追加接種完了は、対象者 1,147 名、接種者 1,101 名、接種率 96.0%でした。

4 種混合の初回接種完了は、対象者 1,113 名、接種者 1,063 名、接種率 95.5%、追加接種完了は、対象者 1,296 名、接種者 1,151 名、接種率 88.8%でした。

ポリオについては、追加のみ 1 名でした。4 種混合が平成 24 年 11 月から開始になり 4 種混合で接種している年代に変わってきているため、接種者はほとんどありません。

2 種混合については、対象者 1,474 名、接種者 1,183 名、接種率 80.3%でした。

続きまして資料の 2 ページです。麻しん風しん混合については、第 1 期対象者 1,125 名、接種者 1,105 名、接種率 98.2%、第 2 期対象者 1,351 名、接種者 1,249 名、接種率 92.5%でした。

水痘については、1 回目対象者 1,179 名、接種者 1,113 名、接種率 94.4%、2 回目対象者 1,171 名、接種者 1,092 名、接種率 93.3%でした。

日本脳炎については、積極的な勧奨の差し控えにより接種機会を逃した方も対象に含みます。第 1 期初回完了は、対象者 1,440 名、接種者 1,269 名、接種率 88.1%、第 1 期追加完了は、対象者 1,826

名、接種者 1,360 名、接種率 74.5%、第 2 期対象者 2,305 名、接種者 1,654 名、接種率 71.8% でした。

子宮頸がん予防ワクチンは平成 25 年 6 月 14 日から現在も接種勧奨の差し控え中であり、予診票は定期的に発送はしていません。希望者のみ発送しています。接種者は 1 回目 8 名、2 回目 5 名、追加 5 名の計 18 名でした。

B C G 接種については、対象者 1,061 名、接種者 946 名、接種率 89.2% でした。接種率が下がっていますが、これはコロナウイルス感染症拡大防止のため、3 月実施の 3 回分の接種対象者を接種期限の近付いている生後 10 か月以降のお子さんを対象としたためです。コッホ現象事例報告書の提出が昨年は 5 件ありました。接種時期は標準である生後 5 か月から生後 8 か月が 4 件、生後 8 か月以上が 1 件でした。ツベルクリン反応検査は、5 件とも行ない 4 件が陰性、1 件が弱陽性でした。弱陽性であった 1 件の方は胸部レントゲンも実施しましたが、レントゲン上は異常ありませんでしたが、市民病院へ紹介されています。

続きまして資料の 3 ページです。インフルエンザについては、65 歳以上の対象者 37,420 名、接種者 19,319 名、接種率 51.6% でした。

高齢者肺炎球菌ワクチンについては、対象者 3,698 名、接種者 1,162 名、接種率 31.4% でした。特例措置が延長されて 5 歳きざみは令和 5 年度まで続きますが、自費を含め 1 度も接種したことがない方が対象となります。

接種者のうち再掲になりますが、愛知県広域接種事業で市外で接種された方、指定医療機関外の補助事業で県外で接種された方の人数を表にまとめましたので、参考にさせていただけたらと思います。

麻しん風しん混合の定期外予防接種についてですが、手続きをされ接種された方が、2 歳以上年中児までの方が 25 名、第 2 期を接種出来なくて小学校入学されてから 7 歳半未満までの方が 14 名でした。

おたふくかぜワクチン予防接種費用助成事業として、1 歳以上就学前までのお子さんが対象で 1,236 名の方に助成を行ないました。

風しんワクチン予防接種費用助成事業として、抗体検査の結果ワ

クチン接種が必要と判断された方で、女性が 189 名、男性が 23 名に対し助成を行ないました。

予防接種特別再接種費用助成事業として、定期接種をされた方で骨髄移植等により接種したものが無効になってしまった方に対して 4 名の方にヒブ・四種混合・麻しん風しん混合・日本脳炎の接種を行ないました。

続きまして資料の 4 ページです。ロタウイルスワクチン予防接種費用助成事業として、平成 31 年 4 月 1 日から開始をしました。一部助成ですので、1 価ワクチンは、1 回につき 4,500 円、5 価ワクチンは、1 回につき 3,000 円の助成になります。接種者は 1 価ワクチンは 794 件、5 価ワクチンは 1,434 件でした。

風しん対策事業、大人の男性の第 5 期の接種ですが、令和 4 年 3 月 31 日までの国の政策で、公的な風しんのワクチン接種を受ける機会がなかった昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日生まれの男性が対象となります。令和元年度はその内昭和 47 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日生まれの方に対し、抗体検査と予防接種を実施できる無料クーポン券を送付して実施しました。8,901 名にクーポン券を送付し、抗体検査受検者は、1,910 名、その内予防接種が必要と判断されてワクチンを接種した人は、432 名です。

予防接種事故についてですが、接種間隔不足で 2 件の報告があり、年々減っている状況です。

続きまして、資料 5 ページ「令和 2 年度予防接種事業計画について」です。継続事業として、定期予防接種、定期外予防接種、愛知県広域予防接種、補助金交付、助成事業、アプリの提供を実施します。アプリの登録者数ですが、8 月 1 日現在の最新情報として、入会数 1,919、世帯数 1,429 になります。

風しんに関する追加的対策事業は、先ほどもお伝えしましたが令和 4 年 3 月 31 日まで実施予定です。今年度は、昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 47 年 4 月 1 日生まれの男性に 4 月 1 日付けで無料クーポン券を 11,164 人の方に送付しました。また、令和元年度に送付したクーポン券の期限は令和 2 年 3 月 31 日で切れていますが、全国的にクーポンの期限が 1 年間延長されたため、交換等せずにそ

のまま令和 3 年 3 月 31 日まで使用できる旨の勧奨通知を 6 月 10 日に 6,777 人に発送し、紛失されている方については、再発行をしています。4 月 5 月の実施者は抗体検査 519 名その内予防接種実施は、67 名です。

資料にはありませんが、子宮頸がん予防ワクチンについて接種勧奨の差し控えから 7 年が経ち定期接種である事を知らずに対象年齢を過ぎてしまうという方が増えています。今回、最終学年の高校 1 年生の女子 739 人と標準開始年齢の中学 1 年生の女子 727 人に対し、通知文、作成したチラシ及び厚生労働省が出している「接種を検討されている方へ」のリーフレットを送付し、希望者には予診票を発行しています。希望者は増えていますが、接種され始めているのが、この 8 月からになるため、実際にどのくらいの人数が接種されたかは、来月以降報告できると思います。

報告については、以上です。

林会長

ありがとうございました。只今の事務局からの説明に対してご質問、ご意見ありましたらお願いします。

木村委員

コッホ現象の 5 名の予後を教えてください。4 名は陰性ということでしたが、その後、どうなりましたか。経過観察になったのか、それとも潜在性結核感染症として治療したのか。

事務局

5 名の方がコッホ現象事例報告書の提出していただけていますが、4 名の方は非特異反応ということで、特にその後何もせずに終了となっています。1 名の方は弱陽性ということで市民病院に紹介され、その後内服をされたと聞いています。

田中委員

1 人該当者がいた記憶があります。その方だと思います。

林会長

潜在性結核感染症ですか。

田中委員

ご指導いただきまして、保健所に連絡をして内服治療をしたと思います。担当ではなかったですが、こういう事例がありますという報告をスタッフから聞いています。

木村委員

成人の肺炎球菌ワクチンは、小牧市はどちらのワクチンを使っていますか。ニューモバックスかプレベナーかどちらですか。

事務局

定期予防接種はニューモバックスになりますので、そちらを使用しています。

林会長

まだ13価は使えないですか。

事務局

プレベナーはまだ定期予防接種として使えるという情報はありません。

新原委員

令和元年度の実施状況について報告をいただきましたが、今年度は新型コロナウイルスの影響によりワクチンの接種控えが起きているという報道がありますが、小牧市においての今年度の接種率の現状についてご報告いただけたら幸いです。

事務局

今年度に入りまして、種目によっては、接種者が減っているもの

もありますが、それは、日本脳炎の第2期や二種混合の小学生の方が対象になるものです。その方たちは少し少なくなっています。しかし、減っているのが3月4月ということで、その後5月6月になってからは、例年通りくらいに増えていますので、さほど少なくなっている状況という感じではありません。

新原委員

ありがとうございます。自治体によっては緊急事態宣言等により接種控えをして、定期接種の期限を過ぎてしまった場合、例えばBCGやB型肝炎など接種期間が短いワクチンに関して対象期間を過ぎてしまったお子さんに対し救済措置を講じている自治体もあると聞いておりますが、小牧市においては、救済措置に関する問合せが市民の方からありますか。

事務局

1件、日本脳炎1期の方で7歳半を過ぎてしまったというお声をいただきましたが、その前に麻しん風しん混合を接種されていたので、コロナウイルスの関係で接種ができなかったということが判断できませんでしたので、今回は救済措置には至っていません。実際、新型コロナウイルスの関係でどうしても接種ができなかったことが確認でき、申請していただければ救済措置をとる方向で動いています。

新原委員

ありがとうございます。

林会長

日本脳炎の追加や第2期は70%代ですが、何か対策はしていますか。

事務局

日本脳炎につきましては、接種勧奨を11歳の誕生日及び高校3

年生に対しては、接種されていない方に対して予診票を送付して接種勧奨をしています。このまま少ないと違う段階で接種勧奨をする必要かと考えますが、今のところは11歳と高校3年生で接種勧奨をしていきます。

林会長

それでは、議題の(1)に入らせていただきます。「令和2年度新規事業及び変更点について」事務局より説明をお願いします。

事務局

令和2年度新規事業及び変更点についてです。資料6ページをご覧ください。

まず、ロタウイルスワクチンについてですが、現在小牧市では一部助成として実施していますが、本年10月1日から定期接種に加わります。

対象者ですが、令和2年8月1日生まれ以降のお子さんで、10月1日以降に接種をしたものから定期接種になります。8月1日生まれ以降のお子さんが、生後6週で接種を開始してしまうと9月に接種になりますので、その場合は定期接種には該当せず、小牧市の一部助成の対象になります。ワクチンの種類は2種類どちら選んでも定期接種になりますが、同じワクチンで最後まで終了していただきます。

2回接種のロタリックスは出生6週0日から24週0日までの間、3回接種のロタテックは出生6週0日から32週0日までの間が対象になります。任意接種と同じ対象になります。

すでに、市民の方には8月1日号の広報で、周知をしました。今後ホームページでも掲載し、該当の方には生後2か月になる少し前にヒブ・肺炎球菌・B型肝炎と同時に送付し、2か月から接種を開始できるようにしていきます。予診票は3回分送付しますので、2回ワクチンのロタリックスを選択した場合は3回目の用紙は破棄していただきます。本人宛の通知にも破棄するよう記載はありますが、医療機関でもロタリックスで接種を開始した場合に3回目の用紙は

破棄するよう保護者に直接指導をしていただくご協力をお願いすることになります。よろしく申し上げます。市内実施医療機関は、先日取ったアンケートの結果、現在 26 医療機関がロタウイルスワクチンの実施をしていただけるという回答をいただいています。

今年度は、7月31日生まれまでのお子さんは一部助成、8月1日生まれからは定期接種と混在しますので、ご注意をいただくこととなります。また、一部助成については、7月31日生まれのお子さんでも32週0日になるのが、令和3年3月中になりますので、一部助成の事業は今年度で終了予定です。

続いて接種間隔の変更についてですが、10月1日から接種間隔について改正されます。現行は、不活化ワクチン接種から別の種類のワクチンを接種する場合は、6日以上の間隔が必要で、生ワクチン接種からは27日以上の間隔が必要です。改正後は注射の生ワクチンから注射の生ワクチンを接種する場合には27日以上の間隔が必要となり、それ以外は、別のワクチンを接種する場合は制限がなくなります。同一ワクチンを接種する場合は、現行と同様添付文書どおりの間隔が必要になります。例えば、ヒブ・肺炎球菌・B型肝炎の初回接種は27日以上の間隔、4種混合の初回接種は20日以上の間隔が必要になります。個別接種を実施していただいている医療機関あてに資料の8ページにあります図と通知文を送付したいと考えています。接種に際し、混乱しないようにまた、間違いのないようにしたいと思っておりますので、周知方法について何かご意見をいただけるとありがたいです。よろしく申し上げます。

林会長

ありがとうございました。質問等ありましたらよろしく申し上げます。

新原委員

ロタウイルスに関して質問があります。ロタウイルスワクチンの添付文書には初回接種を生後14週6日までに行うことを推奨するという記載があります。ロタテック、ロタリックス両方とも同じ記

載です。公的接種に移行するにあたり生後 15 週 0 日以降に初回接種をしても公費接種にあたると考えて良いですか。その件に関する規定は特に何もありませんでしょうか。

事務局

基本的には通知文通り、生後 15 週 0 日以降は安全性が確立されておらずお勧めはしません、と周知はさせていただきますが、終了までに 2 回接種だと 24 週まで、3 回接種だと 32 週までに完了できて保護者との同意が得られれば定期接種になります。

新原委員

ということは、各医院の判断に任せるということでよろしいですか。

事務局

できるだけ生後 14 週 6 日までにということはお伝えしていきたいと思っています。

林会長

保護者の方々に渡る説明文がありますよね。事務局が言ったように生後 15 週 0 日以降は相談、同意の上と書いてあるものが、行き渡る予定になっていますよね。

事務局

通知文の中に入れてありますが、10 月から接種になりますので、発送が 9 月 25 日頃に最初の方が手元に届くという形で準備になります。

林会長

新原委員がおっしゃったように生後 14 週 6 日以降というのは、4 か月以降の腸重積が実際ワクチンによるものか、それとも自然に起こったものかはっきりしない時期になります。かなり前に専門の先

生が回答しているのを見ましたが、生後 15 週 0 日以降は接種しなかったと言っています。

事務局

ロタウイルスを実施していただける医療機関あてに説明の資料を送付する予定で、その中で市民の方へ通知するような内容で Q&A を配布予定です。初回接種を生後 14 週 6 日とするのはなぜですかに対し、お勧めはしていません。と回答させていただいていますが、実施しては駄目という記載にはなっていません。できるだけ避けていただきたいということはこちらとしてもありますが、週数を過ぎて実施しなければいけない、子どもさんにとって実施しなければその方が不利益になるという状況かどうかは、先生と保護者との話しで決められるのではないかと思うので、お任せしたいのですが、きちんと決めた方が良いでしょうか。

林会長

かなり難しい問題ですね。やらなければいけないところの議論がしっかりできていないので。この場の委員で議論できればいいですがどうでしょうか。

田中委員

当院で今どうしているか覚えがないですが、1 回の接種日に 5 例とか人数を制限して実施しています。何年前か前に他院でロタウイルスワクチンを接種して、腸重積を起こして副作用報告を提出した事例が 1 例ありました。何か月のお子さんか記憶がありませんが、比較的乳児でも月齢の若い方だったと思います。診断に苦慮しました。月齢が若い赤ちゃんの方が腸重積の診断は難しいですし、腸管が薄いので、慎重に考えなければいけない。早い時期に投与して腸重積の率が上がるのであればより危険な方を増やすという考えが成り立つのではないかとも思います。

林会長

メーカー側も週数を超えた例でも駄目だとは言っていない。今までも任意接種としても今回定期接種になっても、考え方は変わらないとおっしゃっていました。

新原委員

自分でも調べましたが、諸外国では禁忌になっているところが多いです。当院でも生後 14 週 6 日を過ぎたお子さんに関しては現在は接種していません。

林会長

実際に助成事業の中で週数が過ぎた例はありましたか。

事務局

令和元年度は 1 件か 2 件ありました。

林会長

それは、何か理由が記載されていましたが。

事務局

何も記載はありませんでした。

新原委員

もう一つ質問があります。そのことに関連して小牧市内の医療機関でロタウイルスのワクチンは接種しないがヒブ、肺炎球菌や B 型肝炎のワクチンは接種しますと登録している医療機関はありますか。

事務局

あります。26 医療機関とお伝えしましたが、ロタウイルスだけを考えても助成はするが定期はやらないという医療機関もありますし、定期はするが助成はやらないという医療機関もあります。子どもさんの接種するヒブ、肺炎球菌、B 型肝炎等を実施している

医療機関でもロタウイルスワクチンはやらないという医療機関も多数あります。

新原委員

当院の経験で生後 15 週 0 日を過ぎてからロタウイルスワクチンの接種してほしいと相談があった数例は、他院でヒブ、肺炎球菌等を接種しているが、ロタウイルスワクチンだけ接種していなくて、生後 15 週 0 日を過ぎてから接種したいと当院に相談に見えています。以前、保護者の希望に沿って接種をしたこともありましたが、現在は生後 15 週 0 日を過ぎた場合接種していません。

林会長

確かにそういう場合は困りますね。接種できると思っている方々もいらっしゃいます。先生を説得すればできるのではないかと、たしかに勧めはしないが同意があればできるのではないかと思っている。今、新原委員のおっしゃったような所で接種をしてしまったら、間隔の問題が無くなったとしても生後 15 週 0 日を超える可能性もありますね。

新原委員

保健センターから個別接種を実施している医療機関に対し、ロタウイルスワクチンは原則生後 14 週 6 日までに初回接種は終えるようにと周知徹底していただきたい、ということが希望です。公費接種で大事なワクチンですので、接種忘れもないようにすること、特に接種期間が短いので時期を逸してしまうと接種できなくなるということ、できるだけ生後 14 週 6 日までに初回接種をしないといけないということを周知徹底していただきたいと思います。

林会長

たしかに、新原委員のおっしゃるとおり周知徹底していただきたいです。通知文に副作用の腸重積について記載されていますか。

事務局

なぜ、生後 14 週 6 日までかということとは記載がありませんが、腸重積については記載があります。

林会長

極力、生後 14 週 6 日までに初回を終えるように徹底していくということによろしいでしょうか。

木村委員

なかなか混乱しそうですね。

事務局

基本的には生後 14 週 6 日までに初回を開始してくださいという記載はありますので、こういう形によろしいでしょうか。

林会長

生後 14 週 6 日までに初回を終えるようにということを守っていただくように、期間限定が強いワクチンですので。実施期間が短いのですから。

事務局

強いて言えば、その後にお忘れないようにと注意喚起の言葉を入れることになります。

林会長

副作用のことが問題になりますので、この問題はなかなか解決はしていません。生後 4 か月以降から腸重積が増えてきます。ワクチンのせいなのかどうなのか、はっきりしないがメーカーが比べてみると、ワクチンを入れて生後 3 か月を超えた頃にぐっと増える感じですか。

事務局

副反応におきましては、きちんと説明はされています。

林会長

徹底できる文面をお願いします。広域事業ですが、2つのワクチンですが小牧市はロタリックからロタリックス、ロタテックからロタテックになっていますが、周辺の市町村は同じような文面で通知がきているのでしょうか。選択に対しては何か厚生労働省からきていますか。

事務局

どちらのワクチンを選ぶかについては、特にはきていないです。やむを得ない事情があれば2つのワクチンを混ぜることは可能という文言がありますが、今個別接種になってきていて、ワクチンを取り寄せることで同じワクチンを接種できるということで、ほとんどやむを得ない事情というのは無いであろうという通知をいただいていますので、どの市町村においても同じ種類で2回なり3回続けて接種できると思っています。

林会長

確認はしていないが、愛知県の市町村は同じ種類で接種できるということによろしいですね。

木村委員

どちらのワクチンを選ぶというのは、誰が決めるのですか。

林会長

保護者の方です。医療機関に相談する方もいると思います。現状は相談される方が多いと思います。

木村委員

会長のところは、どちらでも接種できますか。

林会長

助成と定期になった場合でスタンスを変えました。今までは予約を入れていただいで相談して決めていました。ウェブでも予約ができるようになってきている医療機関も多いと思いますが、定期になると件数も増えるため、どちらでもいいように最初から保護者の方が選んで入力できるようにしました。

木村委員

保護者の方は2種類のワクチンの違いを理解して選んでいますか。

林会長

国は2種類のワクチンがありますということだけですよね。わからなかったら自分が受けたい医療機関に相談して予約をすると思います。新原委員はいかがですか。

新原委員

私の医院ではどちらのワクチンも選べるようにしています。迷った場合相談にのりますが、基本的にはどちらのワクチンでも効果に関しては変わらないと思います。

林会長

田中委員はいかがですか。

田中委員

まだその辺り検討はしていません。接種人数も少ないのでたくさんは、ストックができないと思いますので難しいかもしれません。

木村委員

すごく迷うワクチンですね。

林会長

どちらがいいかと言われると難しいですね。回数が少ない方が負

担が少ないという意味で伝えることもありますし。

木村委員

どちらのワクチンでも腸重積の発生に関しての差はないですか。

林会長

差はほとんどないです。新原委員はご意見ありますか。

新原委員

有意差はないと思います。

林会長

市の方から見ると3回だと財政的なことになりますが費用はかかることにはなります。回数の違うワクチンの導入することが、初めてのことであります。国によっては国が決めているあるいは州で決めているところが多いようです。

林会長

それでは、議題の(2)に入らせていただきます。「BCG接種について」事務局より説明をお願いします。

事務局

議題(2)BCG接種について説明します。資料の9ページをご覧ください。

委員からの協議事項でもありますがBCG接種の個別化について、令和元年度の予防接種協議会でも協議をしたところでした。市として準備ができ次第開始する方向で考えています。近隣の状況は9ページの表のとおりです。春日井市も来年度から開始予定で、個別と集団の併用ではなく全て個別接種に切り替えると聞きました。昨年度の協議会で個別集団の併用にするのか、全て個別にするのかという意見もありましたが、春日井市の状況が確認できるため、うまく運用がされれば、全て個別接種に切り替えたいと考えています。以前、

北名古屋市が併用で開始した時に、集団接種分は予約制にして実施したが、ほとんど予約もなく個別接種での実施する方がほとんどであったと聞きました。まずは、実施していただける医療機関がどのくらいあるのか、アンケート調査から実施していこうと考えています。

もう一つの協議事項ですが、親子健康手帳に押す印鑑についてご意見をいただきました。現在使用しているものは、丸印で種類・日付・小牧市が一度に押せるものとロット番号を押しています。親子健康手帳に押してある印鑑が見にくいということであれば、日付・小牧市・ロット番号それぞれの印鑑を押すことは可能になります。今後、個別化に向けて考えているので、現在のものを使用していくか、別々の印鑑を押すかどちらかで検討したいと思います。ご意見をお願いします。

林会長

ありがとうございます。BCG接種について個別化するかしらないは、市の方向として個別化を考えている。後、印鑑について何かご意見ありますか。アンケートについては今年度予定されていますか。

事務局

アンケートについては、令和3年度の初めに実施をさせていただいて、計画が進むようであれば先生方やスタッフの方々の研修を考えています。

林会長

令和3年度に考えているということですね。全て保健センター側が実施していただけるということですか。どんな内容かは協議会で検討するのかそれとも、最初からアンケートを取ってその結果をどこかで発表されるか、この会でかけられて実施するのかどのように考えていますか。

事務局

今会長がおっしゃられました、令和 3 年度にアンケートを実施させていただきまして、その結果について委員会の場で公表して評価・ご意見をいただくか、それともこちらでまとめたものを個々の委員の先生方に資料として送付させていただいて進めるという形になると思います。来年も委員会の開催時期は同じくらいの時期を予定しています。委員の皆様にはどのように進めていくかは相談させていただきながら進めていくことを考えていますのでよろしくお願ひします。

林会長

ありがとうございます。スケジュール等実施していく方向で意見が出ていますが、前は個別集団併用という意見もあり、個別化の方向で考えていくということだと思いますが、今の案についてアンケートを取りながら同時に実質的な話し合いをしていいのか、個別と集団に関して、接種率が下がるのではという意見もありましたが、どの程度あればいいのかということは議論していませんが。事業報告の接種率をみるといいですが、接種率はいいですけど。個別にしても標準生後 5 か月から生後 8 か月は変わらないですよ。何かご意見ありますでしょうか。個別、集団に関してなどどう思われているかお願ひします。

新原委員

去年と今年では、新型コロナウイルスの流行で状況が一変しています。集団で集まることはリスクが大きいと言われていています。去年個別化の方向で議論がされたと思います。個人的にはコロナの流行がいつまで続くかわからない状況なので個別化は急ぐべきだと考えます。

田中委員

ゆっくりですが、全体に個別化の流れが周辺の市町村でもあると思いますので、ある程度方向性をもっていた方がいいのかなと思います。どこでしっかり舵をきるかという時期が難しいかもしれませ

んが、全体の流れとしては、個別化の流れだと思います。新原委員が言われたように個別化した方が対応しやすいですし、今後、新型コロナ以外でも同様の感染症が例えばインフルエンザですとか考えると流れとしてはやむを得ないかなと感じます。

林会長

先生のところは、個別で実施したことはありますか。

田中委員

当院では実施していないので、個々の医師が実施したことがあるかどうかになります。BCG接種については、まったく接種した経験したことがない医師もいるかと思います。経験について聞いたことはないですが、保健センターでの当番であったりする業務がないと実施したことがないと思います。

新原委員

愛知県広域予防接種でBCGは実施しています。自分の医院で年に何件か接種しています。

林会長

木村委員、集団個別接種について何かありますか。

木村委員

専門医ではないので、何とも言えないですが、集団でやった場合のスケジュールの齟齬が出た場合に結構変更が大変なんじゃないですか。10月から接種法が変わってきますので、ポイントとなる予防接種としてBCGとロタウイルスのような気がします。これを中心に不活化ワクチンをスケジュールを入れていくということですが、集団でミスしてしまうとスケジュールの変更が難しい印象があります。あと、びっくりしたことがありますして、コロナのピークの時にBCGが効果があるということで、医師が接種したんですが、管針法ではなく、BCGを直接接種したということもありました。

B C G の認識としては、医師の中でもその程度なのかなあという印象が強くて個別で実施する場合は、最初にきちんと研修をしていたかかないと、前にも言ったかもしれませんが、スタンプが1つであったり、スタンプが離れているとか、場所が変な位置に押し当てられているとかいろいろな問題が起きると思いますので、研修をしっかりとやるべきだと思います。小牧市は外国人が多いので変な要求をしてくることもありますので、これは法律で決まったこういうやりかただということをドクターサイドからもはっきり言っていただく必要があります。足の裏に接種するとか、大腿に接種するとか断固拒否するべきだと思います。

林会長

貴重な意見ありがとうございます。

事務局

保健センターでは、案の段階ですが来年度は実施したことがない先生に対して研修をして、実施できるかどうかの感覚もありますし、準備期間としていきたいと考えています。できましたら令和4年度からスタートできたらと考えています。先ほど事務局から説明させていただいたようにアンケートを重ねて、委員会で報告させていただいて尚且つ研修会も行う形で来年度は進めたいと思っていますがいかがでしょうか。

林会長

たしかに医師の研修も必要ですが、スタッフも含めた教育が必要かと思います。集団で参加している先生方は接種することはできるが、準備について、接種する前のワクチンを開ける時手技とか、接種後にどのくらい乾燥するまで居なければいけないのかなど大事だと思いますので、実際集団に参加している時も小児科医は診察にまわっていて、接種をするのは、小児科医の他の先生が接種しています。集団では準備している保健センターのスタッフがしっかり周りを固めているので上手くいくと思いますが、個別になると新たに

実施するなど経験が少ないところやスタッフもこう実施するんだというところを研修しないと危険なことになるケースもあるかと思っておりますので、医師だけでなくスタッフに対しての研修に重点をおいていただきたいと思います。実際しているところを見るということも必要かと思っております。接種することは、名鉄病院の宮津先生もインターネット上でアップして、手技等を紹介しているので、それも一つの参考にして、スタッフの研修も検討していただきたいと思います。

事務局

はい、それも検討しています。

新原委員

B C G の個別接種が正式に決まったら申し上げた方がいいかと思いましたが、B C G 接種後はコッホ現象というものがあって、接種後 2 週間くらいは経過を見ないといけません。年末年始に接種すると年末年始にコッホ現象を起きた場合に診ていただく医療機関がないということになりますので、年末年始やお盆休み前 2 週間は接種をしないようにしていただきたい。そうしないと年末年始に患者が市民病院へ行って市民病院の小児科の先生に迷惑をかけることになります。年末年始にツベルクリン反応を実施をしなければいけなくなります。他の予防接種とは違い、コッホ現象を考慮して期間を決めて接種するよう各医療機関に徹底した方が良いかと思っております。

事務局

ご意見ありがとうございます。アンケート実施後、研修等実施した後、各医療機関あてに通知を出しますが、新原委員がおっしゃられました年末年始、ゴールデンウィーク、お盆休みの前 2 週間程度は接種を避けるようにという内容を追加して、医療機関に通知を出したいと思います。

林会長

他のご意見ありますでしょうか。個別化に向けて事務局で進めていただくことでよろしいでしょうか。

B C G の個別化実現に向けて事務局で進めていただくようお願いいたします。

事務局

印鑑については、どうしたらよろしいでしょうか。

林会長

これは、現状の集団接種の時に押す印鑑ですよ。

事務局

上段の丸印とロット番号は今現在親子健康手帳に押しているものになります。ロット番号を押す際に端のところが多分に付いてしまって、見にくくなっているのかなと思いますが、今見ていただく分につきましては日付もロット番号も鮮明かと思います。

林会長

たしかにロット番号のところもありますし、日付けのところも1本線が入っていて見にくいこともありました。大きい印鑑だと見やすいですが。

新原委員

個人的には見にくいと思ったことはありませんでしたので、どちらでも構わないと思います。

林会長

日付けが大きく見える方がいいですので、日付けが大事ですので、私はこれがいいかなと思います。はっきり間違いなくわかりますので。

事務局

日付けがわかった方が良いということですね。

木村委員

現場の先生方のやりやすい方で。

林会長

日付けが大きい方で当面実施していただけたらと思います。

事務局

次の実施分から変えていきたいと思います。

林会長

それでは議題の(3)に入らせていただきます。

「標準接種スケジュールから外れた児のその後の接種スケジュールについて」事務局より説明をお願いします。

事務局

議題(3)「標準接種スケジュールから外れた児のその後の接種スケジュールについて」ですが、標準接種スケジュールから外れた児のスケジュールについて委員から協議事項としていただいています。主な接種スケジュールについて10ページに記しました。ヒブ・肺炎球菌は接種開始月齢により接種回数が異なるため、標準開始である生後2か月から生後7か月未満で開始した場合のスケジュールを記載しています。林会長より協議事項としていただいていますので、林会長説明をお願いします。

林会長

標準スケジュールから外れた場合、接種スケジュールが複雑になりますよね。ヒブ・肺炎球菌に関しては、小冊子を読んでも難しいですので、事務局でもう一つ明確なものを作成していただきたいと思ってご提案しました。ヒブや肺炎球菌につきまして、自分でもヒ

ヤツとしたこともありましたし、間隔が違ってきますし、その辺りを作成していただけたらと思います。どうでしょうか、何か明確なものがありますか。

新原委員

ヒブと肺炎球菌に関しては、たまに標準スケジュールから外れた子が来た時に非常に困ることがあります。自院で調べたり保健センターに問合せたりしてから接種する場合もあります。

林会長

メーカーによっては、ヒブ、肺炎球菌については作成しているものもあります。それでも理解しにくいこともあります。日本脳炎も1回接種して2回目を忘れていて6か月以上あいてしまっていて接種して、追加を1年あけるとか、明確にこうだというものがあったような気がします。その中でも昔だと、逆の打ち方で実施していましたが、予防接種法に記載されているように1年あけるようにするとか、ある程度明確にあった方が内科の先生やいろんな先生が参加される事業ですので、実施しやすいように作っていただけるとありがたいです。

事務局

スケジュールを作るとするとヒブと肺炎球菌、日本脳炎くらいですか。

林会長

四種混合もあるといいです。1回目を接種してすごく間隔があいてしまうこともあります。生ワクチンはほとんど問題ないと思います。B型肝炎も2回目から3回目が16週なのか8週なのか明確にははっきりしていませんが、決まりは1回目から3回目が139日以上というのみで、以前も議論したと思います。保健センター側が今まで実施してきたことの間違い接種にならない、最低のラインのスケジュールを示していただいてもいいですし、細かく分けてしっか

りと医院の方々にわかるように作っていただきたくるとありがたいと思いますが大変ですか、これはあくまでも私個人の希望です。

事務局

一度検討して作成してみますが、少しお時間をいただきたいと思っています。

林会長

他にご意見ありますでしょうか。

事務局

今年は、コロナウイルス感染症の関係で、高齢者のインフルエンザワクチンの接種時期が10月15日からですが、少し早まるのではないかという県からの情報がありましたが、先生方の医院では例えば10月1日頃から始めるということは可能でしょうか。

林会長

ワクチンが入れば可能だと思います。通常ですと9月の中旬位に入ってくる医院はあると思いますので、各医院にワクチンがいつ入荷されてくるかということだと思います。

事務局

政府が明日、何か発表するということですので、それに従って各自治体も動き始めると思います。今ここで決めるわけではないですが可能かどうかということです。

林会長

可能だと思います。メーカーがどの程度で入荷してくるかどうかですね。

新原委員

問屋さんの方からは、今年はメーカーのワクチン生産は順調なの

で、9月の末には入るでしょうと言われていています。10月の初めから接種開始することは可能だと思います。

田中委員

まだ、情報がありませんが、いつも入荷待ちで接種を開始するということになります。

林会長

どの程度くらい早く開始する予定ですか。

事務局

県の通知では、10月の前半ということですので、15日だと中旬ですので、早くても10月1日からになるかと思います。

林会長

その辺りでしたら可能かと思います。

事務局

参考にさせていただきます。また、決まり次第相談させていただきます。

林会長

他にありますでしょうか。無いようですので、事務局にお返しします。

事務局

ありがとうございました。長時間にわたりご協議いただきありがとうございました。それでは、以上をもちまして第1回小牧市予防接種協議会を終了いたします。本日は大変お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございました。小牧市では、交通事故が多発しております。お帰りの際は皆様十分にお気をつけいただきますようお願いいたします。本日は、誠にありがとうございました。